

令和4年度（2022年度）

管理事業名	中学校管理事業				総合計画 の体系	大綱 4	子育て・学び		
						政策 2	学校教育の充実したまちづくり		
						施策 2	学校教育環境の整備		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 3	中学校費	(目) 1	中学校管理運営費		
部局名	学校教育部	予算執行 所属	教育総務室、学校管理課、教育未来創生室、保健給食室、学校教育室、教育セン ター						
事業の目的と概要 【目的】・中学校18校の学校施設を安全で快適な教育環境となるよう整備し、学校運営を円滑に実施する。・配慮を要する生徒の教育環境・学習環境を整備する。 【概要】・中学校管理事業（学校に必要な消耗品や備品の購入等による学校の管理運営）・中学校運営事業（教師に配付する教科書の購入）・中学校改修事業（経年劣化している学校施設の老朽化対策として校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事を年次的に実施等）・中学校営繕事業（経年劣化している学校施設の営繕工事、保守点検等の実施による適切な維持管理、特別教室等空調設備の維持管理）・中学校給食事業（生徒等に、安全で衛生的かつ栄養バランスに配慮した給食を提供）									

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
校舎・屋内運動場大規模改造工事等実施校数	校	12	4	9	当該年度に工事を実施した校数 ※令和5年度行政評価から指標名を変更
学校営繕工事実施校数	校	6	13	15	当該年度に工事を実施した校数
中学校給食喫食率	%	18.2	18.0	21.4	全中学校の生徒のうち、中学校給食を喫食した生徒の割合 （食数換算）

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】校舎・屋内運動場大規模改造工事等実施校数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事実施校数：9校（前年比：5校の増） ・トイレリニューアル工事は令和2年度で完了。 ・老朽化対策として、校舎大規模改造工事、屋内運動場大規模改造工事等を実施するとともに、次年度工事の実施設計を行い、教育環境の向上を図った。 <p>【成果指標2】学校営繕工事実施校数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事実施校数：15校（前年比：2校の増） ・校数の増は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、小学校11校で換気扇のない教室に強制換気ができる換気扇を設置したことによるもの。 ・防水工事など、経年劣化している建築物の一部分を補修する営繕工事を実施し、教育環境の向上を図った。 <p>【成果指標3】 中学校給食喫食率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立中学校18校において、安全で衛生的かつ栄養バランスのとれた給食を選択制デリバリー方式で、生徒に315,176食提供した。 また、コロナ禍の中、市民生活を支える緊急的なアクションプランとして、給食費の半額を補助したこともあり、前年度より3.4ポイントほど喫食率が上昇した。 ・中学校の全員給食の実現に向け、健都イノベーションパークでの給食センター方式の採用を前提に、検討を行った。 	<p>【財務情報に基づいた評価】</p> <p>主な経常費用については、物件費1,009,669千円(46.5%)、給与関係費130,407千円(6.0%)、維持補修費293,951千円(13.5%)、減価償却費630,060千円(29.0%)。物件費の内訳としては、光熱水費213,288千円、清掃・警備・樹木剪定等の施設管理委託料128,844千円等。減価償却費は630,060千円であり、校舎大規模改造工事等により、老朽化比率は前年比0.1ポイントの増に留まっている。</p>
---	---

III 課題と今後の取組

<p>校舎大規模改造工事等により、老朽化比率の増加は低い数値で留まっているが、現在、建設から30年以上経過した校舎や体育館が全体の90%を超えており、老朽化対策が必要となっている。引き続き、校舎・屋内運動場の大規模改造工事などを計画どおり着実にを行い、より安全で快適な教育環境の整備に取り組む。</p>	<p>中学校給食の喫食率が、学校ごとによって差が大きい。PTAの試食会などの機会を、給食をPRし、喫食率の低い学校の喫食率を上げていくよう取組みを引続き行う。</p> <p>また、全員給食の早期実現を目指して引き続き検討を進める。その際には、栄養バランスの取れた安心・安全で「おいしく、楽しく」食べられる給食を提供することに加え、学校給食を活用した「生活習慣病予防の基礎づくり」を目指す。</p>
---	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	529,426	519,095	△10,332
未収金	10	10	-	地方債	434,510	453,428	18,918
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	8,606	9,150	544
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	81,195	51,384	△29,811
流動負債	-	-	-	その他流動負債	5,117	5,134	17
有形固定資産	37,630,293	37,985,843	355,550	固定負債	6,297,824	6,892,640	594,816
土地	27,910,891	27,913,386	2,495	地方債	6,129,883	6,603,055	473,172
建物・工作物	9,582,996	9,789,422	206,426	長期借入金	-	-	-
リース資産	95,405	204,859	109,454	退職手当引当金	81,530	83,240	1,710
建設仮勘定	41,001	78,175	37,175	リース債務	28,988	154,056	125,067
無形固定資産	646	646	-	その他固定負債	57,423	52,289	△5,134
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	6,827,251	7,411,735	584,484
土地	-	-	-	純資産	30,828,001	30,598,101	△229,900
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	22,804	21,837	△966				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	1,500	1,500	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	1,500	1,500	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	37,655,252	38,009,836	354,584	負債及び純資産の部合計	37,655,252	38,009,836	354,584

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	2	-	△2
国庫支出金(経常費用充当)	366,310	10,030	7,392	△2,638
府支出金(経常費用充当)	492	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	98,714	151,738	53,024
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,583	348	2,824	2,477
経常収入 小計(a)	368,385	109,094	161,954	52,861
給与関係費	117,363	124,669	130,407	5,739
物件費	1,150,684	824,341	1,009,669	185,327
維持補修費	367,856	142,012	293,951	151,939
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	42,778	25,075	53,583	28,508
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	568,330	619,143	630,060	10,917
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	8,828	8,606	9,150	544
退職手当引当金繰入額	△110,557	10,740	9,082	△1,658
支払利息	29,816	30,327	33,763	3,436
その他	-	3,077	-	△3,077
経常費用 小計(b)	2,175,098	1,787,989	2,169,663	381,675
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△1,806,713	△1,678,895	△2,007,709	△328,814
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	385,119	288,268	245,745	△42,523
特別収入 小計(d)	385,119	288,268	245,745	△42,523
特別支出	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	385,119	288,268	245,745	△42,523
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△1,421,594	△1,390,627	△1,761,964	△371,337
一般財源充当額	1,683,497	1,771,973	1,272,064	△499,909
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	261,903	381,346	△489,900	△871,246

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	368,385	109,084	159,459	50,375
行政サービス活動支出	1,736,614	1,162,126	1,537,350	375,224
行政サービス活動収支差額	△1,368,229	△1,053,042	△1,377,891	△324,849
投資活動収入	383,942	388,268	505,745	117,477
投資活動支出	1,313,765	1,041,067	795,823	△245,244
投資活動収支差額	△929,823	△652,799	△290,078	362,721
財務活動収入	1,038,200	1,008,100	926,600	△81,500
財務活動支出	423,644	1,074,232	530,695	△543,537
財務活動収支差額	614,556	△66,132	395,905	462,037
収支差額 合計	△1,683,497	△1,771,973	△1,272,064	499,909
一般財源充当額	1,683,497	1,771,973	1,272,064	△499,909
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【PL】物件費	需用費(消耗品費・印刷製本費・光熱水費213,288千円、教師用教科書等購入費1,558千円等)、委託料(清掃・警備・樹木剪定等の施設管理委託料128,844千円、中学校給食調理等委託料 111,856千円)
【PL】維持補修費	施設等の修繕料、工事請負費
【PL】負担金・補助金・交付金等	令和4年度吹田市中学校給食費緊急支援事業補助金 53,579千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生徒1人当たり	コスト 245,746 円	200,065 円	237,615 円
コスト	実績 8,851 人	8,937 人	9,131 人
中学校1校当たり	コスト 120,838,777 円	99,332,722 円	120,536,833 円
りのコスト	実績 18 校	18 校	18 校

分析内容
・生徒1人当たり237,615円のコストがかかっている。
・1校当たり120,536,833円のコストがかかっている。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	123,311		14.29
会計年度任用等	25,328	3,025	
特別職非常勤	-		
合計	148,639		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		70.2	67.9	68.0	0.1
施設維持補修費比率		1.3	0.5	1.0	0.5
経常費用対公共資産比率		7.7	6.0	7.1	1.1
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	0.0	-	0.0
一般財源充当比率		48.5	54.1	44.4	△9.7